

(様式 13)

氏名(本籍) 脇田 有貴 (東京都)
学位の種類 博士(歯学)
学位記番号 甲 第403号
学位授与日 2022年3月15日
学位授与の要件 博士の学位論文提出者(学位規程第11条第1項該当者)
学位論文題目 歯周炎患者におけるグルコース分析装置を用いた客観的咀嚼能力の評価

論文審査委員 (主査)教授 申 基喆
(副査)教授 藤澤 政紀
(副査)教授 村本 和世
(副査)教授 横瀬 敏志

論文内容の要旨

歯周病は、歯の動揺や病的移動、さらには歯の喪失が生じる炎症性疾患である。歯周病の重症化および咀嚼機能障害は、全身の健康に影響を及ぼすことが一般的に知られている。しかし、両者の関連性についての報告は少ないのが現状である。そこで本研究は、歯周炎患者の咀嚼能力を客観的に評価し、咀嚼能力に影響を与える要因を明らかにすることとした。被験者は95人で、慢性歯周炎患者群68人と、歯周組織が健全な者27人を対照群とした。グルコース分析装置により算出されたグルコース溶出量を、咀嚼能力値として換算した。その結果、患者群の咀嚼能力は対照群と比較して有意に低く、歯周病が重度であるほど、咀嚼能力値が低下する傾向が示唆された。さらに、咀嚼能力は歯槽骨吸収率の増加に伴い低下することが示された。以上のことから、本研究により歯周病重症度、歯槽骨吸収率が咀嚼能力に影響することが明らかとなった。

論文審査および試験結果の要旨

本論文は、歯周病と客観的咀嚼能力の関連性を明らかにしたものである。本論文における統計学的検討の結果、歯周炎の重症度、歯槽骨吸収程度が咀嚼能力の低下に影響することが示唆された。これは臨床研究において歯周炎患者における咀嚼機能障害を検討する際の新たな知見を提供しているものと判断できた。

明海大学大学院歯学研究科歯学専攻 脇田有貴に対する最終試験は、2021年12月21日、主査 申基喆教授、副査 藤澤政紀教授、村本和世教授、横瀬敏志教授の4名により行われた。論文審査ならびに専攻学術に関し、口頭試問をもって実施し、合格と認めた。また、脇田有貴の語学試験は、大学院入学試験の外国語試験の結果をもって合格とした。よって申請者 脇田有貴の本論文は、博士(歯学)の学位論文に値するものであると判断した。

よって、申請者：脇田 有貴は、博士(歯学)の学位を授与されるに値するものと判断した。